

# Ⅲ 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

## 佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

## 農学部

### 求める学生像

#### 【教育目的と入学後の学習に必要な能力や適性等】

農学部では、農学及び関連する学問領域において、多様な社会的要請にこたえうる深い専門性と幅広い素養を身に付け、国内外での農業及び関連産業の発展に貢献する人材を養成することを目的とします。農学部のカリキュラム編成と本カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

カリキュラム編成	カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等
教養教育科目	文化・自然、現代社会と生活に関する基礎的な知識を修得するために、専門に関する特定の教科や科目に留まらない幅広い知識や考え方を身に付けておくとともに、外国語科目（英語）を履修するための基本的な英語の学習力が必要です。
インターフェース科目	現代社会の諸問題との接続を意識した問題発見能力や解決能力を修得するために、現代的な課題や事象に対する興味・関心だけでなく、学生同士のグループ学習やプレゼンテーションなどを含むアクティブ・ラーニングを積極的に行っていくための主体的な行動力や学習態度が必要です。
専門教育科目	農学分野の基礎的な知識・技術とともに、課題発見と解決能力を修得するために、高等学校で履修する理科、数学を中心とした基礎的理解と応用力に加え、資料や情報を読み解くための国語力と英語力、その他幅広い教科・科目に関する知識を有することが不可欠です。また、演習や実験を通してチーム作業や問題解決型学習を行いますので、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力が必要です。

カリキュラム編成	カリキュラムに適応するために必要な入学時の能力や適性等
卒業研究	高学年次での各研究室における卒業研究では、専門的な研究環境で専門知識と先端技術を修得することになります。そのため、低学年次における教育課程で十分に学習できていることが前提となります。また、卒業研究は少人数形式で行うため、積極的に議論へ参加する態度や、周囲とのコミュニケーションを通じて、学習・研究活動を活性化できるような能力や姿勢を持っていることは有効です。

〈入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〉

### 生物資源科学科

農業に関わる学問に対する興味があり、生物の機能や自然環境について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。講義を理解してレポート等を作成・発表するためには、様々な文章を読む・文書を作成するという国語力、社会の仕組みや地理・歴史といった一般常識も必要です。専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があることから、専門についての英語を学習する為に高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。

農学において、実験や調査活動を自主的・継続的かつグローバルに行なうことは重要です。そのためには自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持ち、教員、先輩、友人、留学生など周囲の人々とコミュニケーションを持つ積極性が大事です。自らの学習活動や取り組みなどを通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらすことで、本学科の教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ意志」を持った学生を歓迎します。

## 入学者選抜の基本方針

各学部の教育目標・方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とし、以下のような多様な選抜方法と多面的・総合的な評価方法により入学者を選考します。

選抜方法	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の入試区分により、入学者を選考します。
特別入試	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、志望コースへの志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象とし、「学校推薦型選抜」、「総合型選抜」、「帰国子女」の入試区分により、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。
3年次編入学試験	短期大学、専修学校及び高等学校の専攻科の課程の卒業生で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

## 入試で評価する入学後の学習に必要な能力や適性等

### 生物資源科学科

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能と、これらを踏まえた基本的な思考力・判断力
- ② 専門分野を理解するために必要な数学に関する知識・技能と、これらを踏まえた数理的な思考力・判断力・表現力
- ③ 国内に限らずグローバルな視点で情報収集、情報発信できる英語の読解力と表現力
- ④ 志望コースで学ぶために必要な基礎的な知識・技能
- ⑤ 専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度
- ⑥ 本学部で学びたいという強い意欲
- ⑦ 自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性

### 全コース共通

入学後の学習に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
学力3要素との対応		「知識・技能」「思考力等」				「主体性等」		
選抜方法	前期日程	共通テスト	60	○	○	○		
		個別試験	○	20	20	○		
		特色加点					☆	☆
	後期日程	共通テスト	73	○	○	○		
		個別試験	○	27		○		
		特色加点					☆	☆

i. 数値は、各入試区分で評価する重み（総合点に対する各配点のウエイト [%]）

ii. ○は、間接的に評価したり、内容を確認するもの

iii. ☆は、加点評価

### 生物科学コース

入学後の学習に必要な能力や適性		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
学力3要素との対応		「知識・技能」「思考力等」				「主体性等」			
選抜方法	学校推薦型 選抜Ⅰ (専門系 高校対象)	基礎学力・学習力テスト			40				
		小論文			20				
		面接					20		
		活動実績報告書					20		
		推薦書					20		
	調査書	(20)							
	総合型選抜Ⅱ (全科対象)	共通テスト	82						
		志望理由書						(18)	
		活動実績報告書							
		調査書	(18)				(18)		(18)

数値は、各入試区分で評価する重み（総合点に対する各配点のウエイト [%]）

### 食資源環境科学コース

入学後の学習に必要な能力や適性		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
学力3要素との対応		「知識・技能」「思考力等」				「主体性等」			
選抜方法	学校推薦型 選抜Ⅰ (専門系 高校対象)	基礎学力・学習力テスト			17				
		小論文			33				
		面接					33		
		活動実績報告書					17		
		推薦書					17		
	調査書	(17)							
	総合型選抜Ⅱ (全科対象)	共通テスト	90						
		志望理由書						(10)	
		活動実績報告書							
		調査書	(10)				(10)		(10)

数値は、各入試区分で評価する重み（総合点に対する各配点のウエイト [%]）

### 生命機能科学コース

入学後の学習に必要な能力や適性		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
学力3要素との対応		「知識・技能」「思考力等」				「主体性等」			
選抜方法	学校推薦型 選抜Ⅰ (専門系 高校対象)	基礎学力・学習力テスト			8				
		小論文			33				
		面接					33		
		活動実績報告書					25		
		推薦書					25		
	調査書	(25)							
	総合型選抜Ⅱ (全科対象)	共通テスト	84						
		志望理由書						(16)	
		活動実績報告書							
		調査書	(16)				(16)		(16)

数値は、各入試区分で評価する重み（総合点に対する各配点のウエイト [%]）

### 国際・地域マネジメントコース

入学後の学習に必要な能力や適性		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
学力3要素との対応		「知識・技能」「思考力等」				「主体性等」			
選抜方法	総合型選抜Ⅰ (全科対象)	適性検査			60				
		面接					40		
		志望理由書						◎	
		活動実績報告書					◎		◎
		調査書	◎						

i. 数値は、各入試区分で評価する重み（総合点に対する各配点のウエイト [%]）

ii. ◎は、点数化はしないが、段階評価するもの（合否、ABCなど）